

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 株式会社 エンチョー  
 コード番号 8208 URL <http://www.encho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 健夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 長谷川 英一  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月11日 配当支払開始予定日 平成20年12月8日

上場取引所 JQ

TEL 0545-57-0850

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	25,208	—	1,019	—	844	—	41	—
20年3月期第2四半期	24,362	1.6	604	△10.7	422	△18.7	209	29.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	3.04	—
20年3月期第2四半期	15.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第2四半期	35,926		7,803		21.7		570.06	
20年3月期	36,622		7,866		21.5		574.56	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 7,803百万円 20年3月期 7,866百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	50,000	1.7	1,630	17.3	1,260	22.3	260	△53.7	18.99	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 13,714,995株 20年3月期 13,714,995株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 26,171株 20年3月期 23,335株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 13,689,949株 20年3月期第2四半期 13,601,632株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）における我が国経済は、原材料価格高騰の影響等により、企業収益は減少に転じ、個人消費も伸び悩んだことから、景気は減速傾向を強めて推移しました。

ホームセンター業界におきましては、上位企業の新規出店とオーバーストア化の進行、再編に伴う寡占化が加速し、企業間の競争は一層激化し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループのホームセンター事業は、高品質・高付加価値商品を積極的に取扱い、暮らしに役立つ情報・サービスの提供を通して、お客様にご満足いただける店づくりを目指してまいりました。また、環境にやさしいエコ商品の推奨、レジ袋の削減、古紙回収スペースの設置、地域周辺の清掃活動などにより環境に配慮した企業を目指し、環境活動に積極的に取り組んでまいりました。

店舗の状況といたしましては、昨年9月に『より快適な住生活を提案する地域最大級のDIYホームセンター』をコンセプトに増床移転した「ホームアシスト」（静岡県駿東郡清水町）は、売上高前年比139.4%と好調に推移いたしました。また、平成20年9月に「ジャンボエンチョー掛川店」（静岡県掛川市）の増床改装を行い、建築資材・鋼材等のプロ向け商材の充実を図り、一般のお客様からプロの方々までご満足いただける品揃えといたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は25,208百万円（前年同期比103.5%）、営業利益は1,019百万円（同168.6%）、経常利益は844百万円（同200.1%）となりました。四半期純利益は「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）の適用に伴い、期首在庫に含まれる変更差額674百万円を特別損失に計上した影響等により、41百万円（同19.8%）となりました。

なお、前年同四半期増減率は参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、35,926百万円となり、前連結会計年度末に比べ696百万円の減少となりました。これは、棚卸資産の評価損の計上に伴う商品の減少490百万円及び建物及び構築物の減少191百万円によるものであります。

負債合計は、28,122百万円となり、前連結会計年度末に比べ633百万円の減少となりました。これは、短期及び長期借入金の減少1,320百万円、支払手形及び買掛金の増加772百万円によるものであります。

純資産合計は7,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円の減少となりました。これは、利益剰余金の減少26百万円、その他有価証券評価差額金の減少35百万円によるものであります。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、1,218百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,706百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益122百万円、減価償却費215百万円、たな卸資産の減少額466百万円、仕入債務の増加788百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、255百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出83百万円、投資有価証券の取得による支出100百万円、敷金及び保証金の差入による支出76百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,554百万円の支出となりました。この主な要因は、有利子負債の圧縮に努めた結果、短期借入金の純減少額781百万円、長期借入金の返済による支出539百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績は、平成20年10月24日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載ある通り、売上高はほぼ計画通り、営業利益、経常利益、四半期純利益は当初計画を上回る結果となりました。

しかしながら、サブプライムローン問題に端を発する世界経済の悪化に伴い、個人消費の低迷が予想されるなど、当社を取り巻く環境は厳しくなるものと懸念されます。

このような状況を鑑み、通期業績予想は、平成20年5月12日に公表いたしました業績予想通りといたします。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

##### 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項ありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として売価還元法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ145百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は529百万円減少しております。

#### (追加情報)

当社及び連結子会社の機械装置の耐用年数については、第1四半期連結会計期間より、法人税等の改正を契機として見直しを行い、一部の資産については耐用年数を短縮して減価償却費を算定する方法に変更しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,218,974	1,318,534
受取手形及び売掛金	662,897	788,448
有価証券	99,990	100,040
商品	8,584,274	9,075,026
仕掛品	23,859	959
貯蔵品	8,150	6,997
繰延税金資産	184,636	162,619
その他	684,706	527,463
流動資産合計	11,467,489	11,980,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,003,608	5,195,477
土地	10,808,710	10,808,710
建設仮勘定	153,444	34,182
その他（純額）	129,351	122,133
有形固定資産合計	16,095,113	16,160,503
無形固定資産	100,779	104,739
投資その他の資産		
投資有価証券	893,660	838,850
長期貸付金	1,554,475	1,578,344
敷金及び保証金	3,260,731	3,337,713
繰延税金資産	708,952	732,136
その他	1,889,088	1,934,359
貸倒引当金	△44,170	△44,170
投資その他の資産合計	8,262,738	8,377,234
固定資産合計	24,458,630	24,642,478
資産合計	35,926,120	36,622,568
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,766,631	6,993,826
短期借入金	4,695,796	5,546,796
未払法人税等	92,617	209,872
その他	2,124,134	2,127,864
流動負債合計	14,679,178	14,878,360
固定負債		
社債	1,816,800	1,700,000
長期借入金	9,273,428	9,742,548
退職給付引当金	913,454	979,520
その他	1,439,799	1,455,435
固定負債合計	13,443,483	13,877,504
負債合計	28,122,662	28,755,864

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902,954	2,902,954
資本剰余金	3,435,559	3,435,559
利益剰余金	1,389,239	1,416,142
自己株式	△11,433	△10,260
株主資本合計	7,716,318	7,744,395
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	87,140	122,307
評価・換算差額等合計	87,140	122,307
純資産合計	7,803,458	7,866,703
負債純資産合計	35,926,120	36,622,568

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

売上高	25,208,858
売上原価	17,919,126
売上総利益	7,289,731
営業収入	192,696
営業総利益	7,482,428
販売費及び一般管理費	6,463,222
営業利益	1,019,206
営業外収益	
受取利息	25,008
受取配当金	6,511
為替差益	6,984
その他	16,616
営業外収益合計	55,121
営業外費用	
支払利息	177,113
その他	52,252
営業外費用合計	229,365
経常利益	844,961
特別利益	
固定資産売却益	595
特別利益合計	595
特別損失	
減損損失	47,741
たな卸資産評価損	674,923
特別損失合計	722,664
税金等調整前四半期純利益	122,892
法人税、住民税及び事業税	69,725
法人税等調整額	11,612
法人税等合計	81,337
四半期純利益	41,554

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(自 平成20年7月1日  
至 平成20年9月30日)

売上高	12,456,067
売上原価	8,880,142
売上総利益	3,575,925
営業収入	98,954
営業総利益	3,674,879
販売費及び一般管理費	3,262,620
営業利益	412,258
営業外収益	
受取利息	12,882
受取配当金	178
その他	10,315
営業外収益合計	23,375
営業外費用	
支払利息	90,297
その他	27,255
営業外費用合計	117,553
経常利益	318,081
特別利益	
固定資産売却益	595
特別利益合計	595
税金等調整前四半期純利益	318,677
法人税、住民税及び事業税	61,126
法人税等調整額	78,699
法人税等合計	139,826
四半期純利益	178,851

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	122,892
減価償却費	215,182
減損損失	47,741
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△66,065
受取利息及び受取配当金	△31,519
支払利息	177,113
為替差損益(△は益)	△3,555
有形固定資産除却損	3,579
売上債権の増減額(△は増加)	123,067
たな卸資産の増減額(△は増加)	466,698
仕入債務の増減額(△は減少)	788,236
未払消費税等の増減額(△は減少)	76,738
その他	132,314
小計	2,052,423
利息及び配当金の受取額	16,862
利息の支払額	△177,006
法人税等の支払額	△186,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,706,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△83,757
投資有価証券の取得による支出	△100,325
敷金及び保証金の差入による支出	△76,535
敷金及び保証金の回収による収入	119,392
その他	△113,968
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△781,000
長期借入金の返済による支出	△539,690
社債の発行による収入	300,000
社債の償還による支出	△440,000
リース債務の返済による支出	△23,647
自己株式の増減額(△は増加)	△1,173
配当金の支払額	△68,655
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,554,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,555
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△99,560
現金及び現金同等物の期首残高	1,318,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,218,974



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		24,362,331 100.0
II 売上原価		17,501,123 71.8
売上総利益		6,861,207 28.2
III 営業収入		196,279 0.8
営業総利益		7,057,487 29.0
IV 販売費及び一般管理費		6,452,886 26.5
営業利益		604,600 2.5
V 営業外収益		
1. 受取利息	27,143	
2. 受取配当金	6,096	
3. 為替差益	1,716	
4. 雑収入	16,852	51,808 0.2
VI 営業外費用		
1. 支払利息	164,890	
2. 融資手数料	48,166	
3. 雑損失	21,143	234,200 1.0
経常利益		422,208 1.7
VII 特別利益		
1. 固定資産売却益	10,601	
2. 役員退職慰労金戻入益	10,283	20,884 0.1
VIII 特別損失		
1. 減損損失	56,774	
2. 店舗移転損失	50,715	107,489 0.4
税金等調整前中間純利益		335,603 1.4
法人税、住民税及び事業税	119,331	
法人税等調整額	6,696	126,027 0.5
中間純利益		209,576 0.9

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	335,603
減価償却費	199,774
減損損失	56,774
店舗移転損失	50,715
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	△65,795
長期未払金の増減額 (減少: △)	△135,820
受取利息及び受取配当金	△33,240
支払利息	164,890
為替差損益 (差益: △)	△5,428
有形固定資産除去損	5,958
売上債権の増減額 (増加: △)	△42,221
たな卸資産の増減額 (増加: △)	411,401
仕入債務の増減額 (減少: △)	391,785
未払消費税等の増減額 (減少: △)	△42,241
その他	183,532
小計	1,475,690
利息及び配当金の受取額	27,136
利息の支払額	△159,835
法人税等の支払額	△162,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,180,261
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△299,038
投資有価証券の取得による支出	△312
保証金の預入による支出	△31,640
保証金の返還による収入	385,887
その他	62,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	117,059
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (減少: △)	△762,000
長期借入れによる収入	90,000
長期借入金の返済による支出	△486,390
社債の償還による支出	△140,000
株式の発行による収入	57,400
リース債務の返済による支出	△22,970
自己株式の増減額 (増加: △)	10,069
配当金の支払額	△67,707
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,321,597
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	5,428
V 現金及び現金同等物の増加額	△18,849
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,526,423
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,507,573